

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

平成 30 年度 第 2 回 飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録

日時	平成 31 年 1 月 19 日（土） 13：00～14：30	
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 飯島 長男 前匝瑳市豊栄地区シニアクラブ副会長 大塚 栄一 匝瑳市商工会副会長 鈴木 弘 匝瑳市シルバー人材センター会長 栗山 恭典 千葉興業銀行法人戦略部長代理 代理出席 伊場 寛人 千葉興業銀行八日市場支店長 小川 俊恵 匝瑳市介護事業者連絡協議会長 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 増田 利夫 豊栄地区社会福祉協議会長 飯島 正義 豊栄地区区長会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鈴木 敦子 事務長</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p> <p>■オブザーバー</p> <p>匝瑳市 大木 寛幸 匝瑳市企画課長 林 雅之 匝瑳市企画課まちづくり戦略室長</p>	
議事録	事務局	1 開会 開会のあいさつを行った。

		<p>様々な動きが出てきている。</p> <p>廃校になった学校を使って、学習をしてもらいながら上手く定住して仕事をしてもらうということを考えている受入れ機関があると聞いている。</p> <p>今回の計画については、外国人実習生の活用といったことはまだ検討していないが、今後はそういったことも検討する必要があるのではと考えている。</p>
	C 委員	<p>地元でもまだ働いている人中高齢者もいるし、若い人もいる。受入れ体制を整えていくことが重要ではないか。</p> <p>通信技術が良くなっていけば距離の問題も解決できる。</p> <p>生産年齢が以前より上昇している。今は 60 歳でシルバー人材センターに入るといった人はいない。70 歳以上でやっと入るといったこととなっている。</p>
	井上峰夫 委員長	<p>今回の募集もさせて頂いている中で、中高齢者の方の応募が多い。若い人の応募は少ない。</p> <p>応募されている中では、60 前後の方が多い。60 歳前後の方々の雇用の受け皿として担っているのではないかと感じている。</p>
	D 委員	<p>市民農園はどこを想定しているのか。</p>
	井上峰夫 委員長	<p>資料の参考としては、匝瑳市が行っている市民農園を掲載している。</p> <p>場合によっては本計画地の隣接にて行うのも良いのではないかと考えている。</p>
	D 委員	<p>市内全域で盛り上げていかないといけない。</p> <p>市も支援を行っていくのか。</p>
	井上峰夫 委員長	<p>今後の計画として交流センターを建設予定である。</p> <p>その建物の建設については、国の補助金を活用しながら匝瑳市も支援頂くこととなっている。</p> <p>その交流センターにはコーディネーターを配置し、移住</p>

	<p>E 委員</p> <p>F 委員</p> <p>井上峰夫 委員長</p> <p>G 委員</p>	<p>してきた方々と地元の方々との橋渡し役を担うこととなる。</p> <p>一番大事なことは PR である。利用者がなければ運営はできない。</p> <p>サ高住ができるということはとても良いことだと思っている。自分自身も単身になればサ高住の入居は検討しても良いと思っている。</p> <p>ただし、サービスの質が悪いと悪評が立つ。</p> <p>従業員の育成はとても大事である。60 歳前後が多いとおっしゃっていたが、中には資格を持っていないが、九十九里ホームで働きたいという方もいるのではないかな。</p> <p>そういった方々のために、勤務を条件として、初任者研修を無料でやっていただく、そうすると応募者も増加するのではないかな。</p> <p>職員の資質向上のための研修については、介護職員の初任者研修、実務者研修、専門的な研修等々、既に行っている。職員については、無料ではないが割引で行っている。九十九里ホームで初任者研修を受けて頂いた方が今回応募頂いているケースも数多い。力を入れてやっていかなければならない。</p> <p>実際は何の資格も無い方も雇用をしている。そういった職員向けに実務者研修を行って、介護福祉士の資格を目指すということをやっている。実際に取得した職員も数多くいる。</p> <p>今回の計画は飯倉台に住んでいる方々の関心が高い。</p> <p>どういう施設が出来上がるのかということよりも、地域住民の方々には自分達の生活が少しでも便利になることを期待している。</p> <p>買い物をする場合についても、横芝や八日市場まで行かなければならない。行きは電車で行けるけども、帰りは荷物が多くなるのでタクシーで帰宅している。交流センターが出来るといことなので期待している。</p>
--	---	--

	<p>職員募集の件についても、勤めたくても資格が無い、交代制の勤務も負担であるという声を聞く。ある程度パート感覚で仕事ができると良いのではないか。</p> <p>市民農園の件だが、飯倉の近くにあれば非常に便利になる。ふれあいパークの「ふれあい農園飯塚」は常に満杯の状態である。本計画地に隣接する使用していない農地を活用すれば、移住者、地域住民双方にもメリットがあるのではないか。</p> <p>交流センターの中にどのような機能が必要か？</p> <p>飯倉台の中にもコミュニティセンターはあるのだが、高齢者の方々には不便である。</p> <p>例えば階段にしても手すりがついていない。場所もはっきりとしない。30年住んでいても知らない方もいる。買い物もそうだが、そこで交流ができるスペースが欲しい。</p> <p>おためし移住施設については何物件を保有しているのか？</p> <p>今のところ1軒である。</p> <p>去年の12月から試行で行っており、本格運用は新年度4月からである。まだ利用希望は無い状況である。</p> <p>この物件は市民病院の医師の官舎として保有している物件であり、医師が利用しない時期を活用しておためし移住施設として利用する。</p> <p>近隣のおためし移住を実施している自治体へヒアリングを行っているが、おためし移住の効果はまだはっきりとしていないとのこと。市が物件を保有するのはリスクが高いためこのような運用となっている。</p> <p>利用料は無料としている。利用料を徴収すると旅館業法に抵触するため無料で行っている。</p> <p>本計画のサ高住のおためし移住施設は、計画を国に提出しているということもあり、料金徴収は可能となっている。</p>	<p>井上峰夫 委員長</p> <p>G 委員</p> <p>H 委員</p> <p>匝瑳市</p>
--	---	--

	<p>I 委員</p>	<p>以前のアンケート結果を確認すると、まだまだ匝瑛市を知らない人は多い。シティセールス、プロモーションということで市がどれだけ体力を掛けて行こうかが鍵になってくる。</p> <p>アンケート結果に戻ると、生活環境や暮らし方を変えたいと答えた方が多かった。</p> <p>仕事または働き方を変えたい、趣味やレジャーを楽しみたい、自然を身近に感じたいというニーズがある。要するに自分をリセットしたいというニーズがある。違う自分を発見したいという欲求がある。</p> <p>ただし、移住となると不安になる点がある。それは仕事が無いという点と、近隣住民とのコミュニケーションの取り方についてという点である。</p> <p>また、年金暮らしなので生活全体のコストをさげなければ移住を決断することができない。</p> <p>仕事を作っていく、生活コストを下げっていく、そういったニーズに合ったものを作っていきべきではないか。</p> <p>どうやって解決していくかということだが、人手不足は各業界が問題としている。仕事が無いことは無い状況ではないか。</p> <p>仕事の間をどうやって創出するか、匝瑛市全体の問題である。大きく言えば匝瑛市全体の経済の活性化を図らなければならないことである。</p> <p>一朝一夕ではできないことだが、今から手をつけていかないといけないだろう。</p> <p>市の PR 費はどれぐらい計上されているのか。ほとんどが予算化されていないのではないか。予算が無いからやれないという状況なのではないか。テストマーケティングするべきではないか。東京都の江戸川でも良いし、江東でも良い。</p> <p>一地区を限定し集中的に PR を行うのはどうだろうか。例えばショッピングセンターや催事場を借りて匝瑛市移住・定住フェア等を行うのはどうか。</p>
	<p>匝瑛市</p>	<p>移住定住の PR は企画課が行う。</p> <p>予算に明確には出てこないが、県や近隣の自治体との合</p>

		<p>同での移住定住相談会、PR の場は年に数回行っている。</p> <p>例えば東京の有楽町にある東京交通会館であるとか、東京都下複数の場所出張して行っている。</p> <p>今回のおためし移住施設の運用についても、匝瑳市に興味がある、試験的に住んでみたいという意見が寄せられたので対応を行った結果である。</p> <p>地場製品の PR については産業振興課が対応しているが、都内の数箇所へ先方のイベントへ合わせて参加させて頂く形でPRを行っている。</p> <p>PRについては九十九里ホーム単独で行うのはかなり厳しい。</p> <p>例えば旅行会社と提携をして、匝瑳市の祇園祭を見に来てもらう。何日か滞在してもらって肌で感じてもらう。お祭りに来てもらうということが一つの手かなと考える。匝瑳市のお祭りについてはかなりインパクトがあると感じている。</p> <p>まちの活性化について何か意見はないか。</p> <p>今現在、他市町村から移住してきた人が 700 人程度いるとのこと。</p> <p>これからは成田空港の拡張等によって成田の発展が見込まれる。</p> <p>成田市内と比べれば匝瑳市の方が物価が安いと思われる。ただし成田までのアクセスが悪いのではないかと。手軽な交通手段ができれば移住先として選ばれるポイントとなるのでは。</p> <p>地域が変わるといのは交通の便が良くなるのがきっかけではないか。</p> <p>場所自体は良い場所に位置していると感じている。</p> <p>成田との関係は念頭に入れておくべきであろう。</p>
	I 委員	
	井上峰夫 委員長	
	A 委員	
	井上峰夫 委員長	

	A 委員	既に住みやすいところに住んでしまっているため、見えていない部分があるのかもしれない。
	事務局	4 閉会 次回は 3 月 2 日 (土) 15 : 15 から。